

下さい。

シンポジウム

九月三十日(日)に「生と死を考える会」主催の「家で死にたい〜在宅死を支える〜」というシンポジウムに参加してきました。

宗教家や医師、そしてケアを支える人や家族が在宅ケアについて話をしました。その中で、「家」という場



シンポジウム (右端が朋幸)

所の素
晴らし
さも多
く語ら
れまし
た。僕
も司会
という
立場で
したが、

いろいろ勉強になりました。

最近では、ホスピスという施設が注目されていますが、在宅にこそ生活があるのではないかと思いました。皆さんはどのようにお考えですか？機会があったらいろいろ教えてください。

入れ歯の出し入れ法

先日、ある出版者の方から、「入れ歯の出し入れがよく分かるような詳しい本を出したい」という話がありました。今年出版した在宅医療の専門書の中で、歯科について担当した時、そのことについても書いたのですが、本当にわずかなものでした。僕も介護の方が分かるような本が出版されるといいなあと思います。

ところで、僕たちは上下の入れ歯があれば上から入れます。そのこと

で不自由をしたことはもちろんありませんでした。ところが、Wさん(女性)の娘さんは、「お母さんの入れ歯は下から入れないと入らないんですよ。」と言われます。そんなことないだろうと思って意地で上から入れようとしましたが、力づくでも入りませんでした。そこで、娘さんの言うように下から入れてみると無事に上下が入りました。これにはびっくり。もしかしたら、どちらから入れたら楽なのかもっと研究すべきかもしれないと感じました。

そんなことがあり、落ち込んでいた僕にWさんのご主人が一言、「上からでも下からでも入れればいいんですよ。」ありがたい慰めの言葉でした。皆さんもいろいろなお知恵を下さいね。